



牛牧小だより

令和7年6月号

瑞穂市立牛牧小学校

みんなで創り上げた運動会

5月28日（水）には、大勢の保護者の皆様にお越しいただき、運動会を盛大に開催することができました。心より感謝申し上げます。

前夜に雨が降り、グラウンドの状態は最高ではありませんでしたが、真っ青な空の下、「仲間と協力して団結力を高めよう」というスローガンに向かい、子どもたちの笑顔と歓声が運動場いっぱいにあふれました。

ゴールをめざして駆け抜ける子どもたちの真剣な表情は清々しいものでした。団体種目では、仲間と力と息を合わせて力いっぱい頑張りました。また、仲間の頑張りに手拍子や拍手、声に出して応援する姿、プログラムに変更がありましたが、5年生、6年生の係の児童がてきぱきと動いたり臨機応変に働いたりする姿がありました。全校が一丸となって取り組むことができました。

子どもたちは、大勢の前で、大きな声援や拍手に後押しされ、力を出し切れたことは大きな達成感となり、自信に繋がったことと思います。また、当日だけではなく、当日までの取組も子どもたちは頑張りました。練習を始めた頃は、種目の意味や動き方、走り方などを学びました。練習を重ねるうちに、子どもたち自ら、よりよくするための方法を考え、動き、練習するといった姿がみられました。教えられたもの（形）から、自分のもの（質）に変わっていききました。質が変わったとき、達成感や成功体験、心の成長がうまれます。こういった体験、形から質に変わる瞬間を大切にしていきたいと思います。



読書による効果

瑞穂市では、子どもたちが読書を通じて人生をより深く生きることを願い、子どもの読書活動を推進しています。読書には、様々な効果があることがわかっています。

□新しい知識が増える

読書は、これまで知らなかったことを知るきっかけとなるため、新しい知識や教養が身に付きます。そうすると、視野が広がり物事をいろいろな側面からみられるようになると考えられています。

□語彙力が育ち、文章力が養われる

本を読むとたくさんの言葉が出てきます。知っている言葉もありますが、知らない言葉も出てくるため、今までの自分にはなかった言葉を身に付けることができます。また、同時に良い文章に触れることで文章力も磨かれると考えられています。

□想像力が豊かになる

参考書や学習ドリルも活字で書かれていますが、本は文章から情報を読み取ることになります。物語文なら登場人物はどのような気持ちだったか五感をフル活用して楽しめます。このように、読書は子どもの想像力を養ってくれます。

その他にも、コミュニケーション能力を高めたり、リラックスしやすい状態をつくることで前向きな気持ちになったりする子もいるかもしれません。学校では、読書を習慣化するために、学級で図書館に行って本を借りたり、読書の時間を設けたりして、本をいつも手元に置いて読めるような環境作りに努めています。

毎日10分でも読書の時間をつくるのもよいですね。また、お子さまと一緒に読書をしたり、同じ本を読んでどんな本であったか感想を共有したりする楽しみ方もよいのではないのでしょうか。